

一般質問の順序及び質問の概要

2月14日（金）午前10時（場所 小野町役場 2階 議場）

順序	質問議員	質問内容及び要旨
1	羽生洋市議員	1 防災・防犯行政について
		①避難行動要支援者名簿の作成について 平成25年の災害対策基本法の改正により、災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害者等の避難行動要支援者について、避難行動要支援者名簿を作成することが市町村で義務化されているが、町の作成状況を伺いたい。
		②個別避難計画の作成について 令和元年台風19号等の近年の災害においても、多くの高齢者や障害者等の方々が被害に遭われている状況を踏まえ、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするためには個別避難計画の作成が有効とされたことから、令和3年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者について、個別避難計画を作成することが、努力義務とされていますが、町の現状を伺いたい。
		③高齢者の強盗、災害に備えた、緊急時の通報システムについて 最近、高齢者を狙った強盗、災害が発生している。1人暮らしで、そのような事態が発生した場合、近隣協力者等にアラーム等で非常事態を知らせるものを設置することは有効と考えるが町の考えを伺いたい。
		2 一般行政について
		①日本語教室への参加者拡大の取り組みについて 外国人労働者に対する小野町の日本語教室の取り組みは、地域との交流等、地域との調和を目的とした取り組みとなっており、多くの皆さんに活用いただくことで、地域住民との調和の拡大に繋がるものとする。小野町が一丸となって、事業所に働きかける取り組みが必要と考えるが、町の考えを伺いたい。
		②町制70周年について 今年2月は、小野新町、飯豊村、夏井村が合併して町制70周年となる。どのような取り組みを考えているのか伺いたい。

順序	質問議員	質問内容及び要旨
2	緑川久子議員	1 町立日本語学校の開校についての検討課題と問題点
		①国の設置基準の“施設（校地・校舎）、設備”について 日本語学校は国の設置基準によると、校地、校舎は原則的に設置者の所有であることや保健室や図書室、教員室などを備えていることが求められていることから、統廃合後の小野高校を候補地として考えているのか。
		②国の設置基準の“資金”について 日本語学校は設立や運営に関して国や県からの補助はなく、開校までに施設の整備や運転資金などの多額の資金が必要とされるが、認可基準の経営をするための基礎である資金について伺う。
		③国の設置基準の“教職員の確保”について 日本語教師が都市部に集中している点や日本語学校の増加による深刻な教員不足の現状に、生徒数や規模に応じた一定数の教職員の確保は難しいのではないかと。
		④町立日本語学校の運営体制について 町が独自で運営できない事業であることは明らかであり、民間事業者の関与が考えられるが、運営にあたっては主に公設民営型と第三セクター方式がある。どのような体制で運営することを考えているのか。
		⑤日本語学校に適した環境・立地条件について 日本語学校は商業施設や公共施設、働く場所といった留学生が学ぶ環境が整っている都市部、又はその周辺に集中している。地方の町である小野町では留学生の確保が難しいのではないかと。
		⑥グローバル事業の危険性について 日本語学校は留学生の出身国の政治経済状況に影響を受けやすく、学費未納や途中退学などの問題が指摘されているが、海外相手のグローバル事業の危険性の認識について伺う。
		⑦国の教育機関側の留学生の管理体制について 国では留学生が多数行方不明になった問題を重視し、教育機関側の管理体制が不十分な場合には留学資格を認めないこととした。国の管理体制についての町の見解を伺う。
		⑧留学生の文化・制度の違いによる住民生活の影響について 留学生は多国籍にわたるため、言語の違いによる意思疎通の問題やそれぞれが異なった文化や生活習慣を有していることから、住民生活への影響が心配されるが、町の考えを伺う。
		⑨町立日本語学校の開校を撤回する考えは これまでも町立日本語学校の開校を巡って国の施設基準を始め、運営や法的な課題、住民生活の影響など多方面から問題を指摘してきたが、小野町にとってはハードルが高く、将来的に危険性を内包している事業に思われるが、撤回する考えは。
		2 産業祭について
		①“産業祭”と“健康まつり”の同時開催を 町民参加による産業祭は地域の活性化として、又、地産地消の観点からも農業などのあらゆる産業に携わる人達にとっても励みとなるイベントであることから、“健康まつり”との同時開催を検討すべきでは。

順序	質問議員	質問内容及び要旨
3	國分順一議員	1 一般行政について
		①町長の政治姿勢について 一期4年をふりかえり、どのような施策に合格点をあげられることができ、やろうとしてもできなかったのは何だと考えるのか、伺いたい。
		②新年度当初予算について 新年度の予算編成にあたって、どのような施策に重点をおいた予算編成になっているのか、伺いたい。
		③町の人口減少問題について 町には、定住コーディネーターの方はいるが、移住・定住をされる方が永く住み続けられる様に生活に密着する地域の方々による支援体制を構築してはいかがかと考えるが、町長の考えを伺う。
		④役場庁舎移転による道路環境整備について 役場庁舎移転により町道七生根も交通量が増加すると見込まれる。冬期間は圧雪、凍結し危険な状態になるため、新庁舎建設に併せて立木等の伐採も含めて道路環境の整備を進めるべきと考えるが、伺いたい。
		2 福祉行政について
		①町内介護事業所の休止対策について 町内の介護タクシー事業が昨年12月で休止となったが、幸い2月1日より再開された。介護サービスは大変重要であり、今後このような事案が生じた場合の対策を講じておくべきと考えるが、町の考えを伺いたい。

順序	質問議員	質問内容及び要旨
4	橋本善雄議員	1 一般行政について
		①スポーツで地域活性化について スポーツイベント等を企画し、町外からも参加を募り、町内に人を呼び込むことで活性化させていくというやり方を考えますが、町として何かスポーツイベント等を考えているのか伺いたい。
		②学生等の合宿地誘致について 現在さまざまなスポーツ施設等がありますが、交通網が豊かになり、県内外からもアクセスしやすくなり、もっと施設を使用してもらえるように誘致活動等進めていく考えがあるか伺いたい。
		③道路整備等要望に対する窓口開設について よく町民の方々から道路に関する要望等がありますが、その声を直に聞く専用の窓口やアンケートBOX等があってもいいと考えるが、町として開設やアンケートを行う考えがあるか伺いたい。

順序	質問議員	質問内容及び要旨
5	會田百合子 議員	1 教育行政について
		①小・中学校のいじめの現状について 本町においての小・中学校のいじめの現状についてお聞きします。
		②いじめの対応について いじめは、いじめる側、いじめられる側、保護者など多くの方が関わってくる大きな問題であり、絶対にあってはならないことです。万が一起きってしまった場合、教育現場としての対応を伺います。
		③いじめの防止について いじめを未然に防ぐため、あるいは、早期に発見するために、子供達を注意して見ている所や取り組んでいる所があればお聞かせ下さい。
		2 健康事業について
		①健康づくりのための事業について おのまちウォーキング普及事業としてバーチャル健康ウォーキングが令和6年度は開催されました。令和7年度も健康づくりのための事業を考えているのか伺います。
		②ウォーキングコースの維持管理について ウォーキングコースには、B&G周辺、歩道、堤防などありますが、町では定期的に草刈りや整備などを今後、どのように管理していくのか伺います。

《傍聴される皆様へ》 傍聴にあたっては、次のことをお守りください。

- 談笑したり、むやみに席を立ったりしないで、静かに傍聴してください。
- 携帯電話は、電源を切るかマナーモードに切り替えてください。
- その他、会議の妨害となるような行為（飲食・喫煙・写真撮影等）はしないでください。
- 係員の指示に従ってください。